FHFAが高額のセカンドホームローン手数料を引き上げる

連邦住宅金融庁（FHFA）は最近、特定の高額ローンおよびセカンドホームローンに対するファニーメイおよびフレディマックの前払い手数料の目標を定めた引き上げを発表しました。FHFAからのリリースによると、高残高ローンは、ベースライン適合ローン限度額を超える特定の指定地域で発生した住宅ローンです。

新しい料金は、市場とパイプラインの混乱を最小限に抑えるために、2022年4月1日から配信と買収に対して有効になります。

FHFAによると、企業が手頃な価格の住宅を強力にサポートし続けるために、HomeReady、Home Could、HFA Preferred、HFA Advantageなどの特定のプログラムの既存の有益な価格設定は、新しい料金によって変更されません。

さらに、所得が地域の中央値の100％以下である高コスト地域の初めての住宅購入者へのローンには、特定の高額の前払い手数料はありません。

「これらのターゲットを絞った価格変更により、企業は住宅所有への公平で持続可能なアクセスを促進するという使命をよりよく達成できると同時に、規制上の資本ポジションを長期的に改善することができます」とFHFAの代理ディレクターであるサンドラトンプソンはリリースで述べました。「本日の行動は、企業の安全性と健全性を強化し、初めての住宅購入者と低中所得の借り手が信用できるようにするためにFHFAが取っているもう1つのステップを表しています。」

4月には、高額ローンの前払い手数料が0.25％から0.75％の間で増加し、ローンとバリューの比率で階層化されます。ファニーメイとフレディマックは、これらの住宅ローンをそれぞれハイバランスローンとスーパーコンフォーマルローンと呼んでいます。

セカンドホームローンの場合、前払い手数料は、ローンとバリューの比率で段階的に、1.125パーセントから3.875パーセントの間で増加します。

FHFAは、ファニーメイ、フレディマック、および企業向けの共通証券化ソリューションの2022スコアカードで目標を設定し、現在の価格設定フレームワークを更新して、コアミッションの借り手のサポートを強化すると同時に、資本蓄積を促進し、実行可能なリターンを達成し、公平なプレーを確保します。小規模および大規模の売り手のためのフィールド。

SOURCE: VALUATION REVIEW https://bit.ly/3ojzFim

PROVIDENT TITLE COMPANY